

# News & Information



## 新商品

2005年1月31日

### 今までにない可愛らしい小さな花。 新しいニチニチソウ **フェアリースター®** を新発売。

夏の草花に合わせやすい色と大きさ、まとまりの良さ、丈夫さと見映えの良さが揃ったニチニチソウのニューフェイス！



◆フェアリースターを使った寄せ植え

第一園芸株式会社（社長：今野 博、本社：東京都品川区）は、2005年6月上旬より今までにない極小輪のニチニチソウ「フェアリースター®」 ホワイトウイズアイ」を花苗として限定で発売開始致します。「フェアリースター®」は今までにない小さな花がたくさん咲く、まったく新しいタイプのニチニチソウです。夏の暑い時期のガーデニングシーンを支える小花系の花材として、使いやすく育てやすい品種です。特に、日向で育てるコンテナガーデンの寄せ植え素材として最適で、可愛らしい白い花が、さわやかで上品な印象を与えてくれます。

また、「フェアリースター®」 ホワイトウイズアイ」はその品種特性が評価され、昨年開催された「しずおか国際園芸博覧会「パシフィックフローラ2004」（浜名湖花博）における品種コンテストにて最上位賞となる名誉賞<sup>※1</sup>を受賞致しました。

“潤いに満ちた生活を、花と緑で応援する” 第一園芸のオリジナル花苗カテゴリー「快適花生活」のラインナップの一つとして、「フェアリースター®」は夏のガーデニングシーンに花を添えます。今後、2006年度の本格販売とともに、新花色の開発にも取り組んでまいります。



◆「フェアリースター®」  
ホワイトウイズアイ



◆店頭販売規格  
(10.5cmポット苗)

## 快適花生活

○問い合わせ先○  
第一園芸(株) 営業第二本部 業務推進セクション  
業務推進チーム 担当：香取、右田  
TEL 03-6404-1315 FAX 03-6404-1327  
E-mail: blurette@daiichi-engei.co.jp  
URL: <http://www.daiichi-engei.jp/>

## ■フェアリースター「ホワイト ウイズ アイ」の特長

特長は、普通のニチニチソウの花の大きさに比べると約1/4（花径で1/2）程度という小ささ。1節の芽の付きかたが2倍ほど多い「八房性」があるため、分枝も多く花数も格段に多い。花色（白色に赤の目入り）の優しさも加わって、まったく新しい表現を楽しめるニチニチソウです。性質は最も丈夫な品種といわれるクーラー系<sup>\*②</sup>と同等に低温や湿度に強く、最近の花色中心のパシフィカ系<sup>\*③</sup>等より格段に蒸れにくく育て易い品種です。

草丈は30cm程度止まりで、株張りは40~50cmまで育ちます。薬（矮化剤）を使わなくても矮性と大株張りが表現出来ます。

2005年のフェアリースターは、写真のホワイトウイズアイの1品種。6月上旬より全国有名ホームセンター、園芸店、第一園芸直営店の一部などで販売。10.5cmポット苗、希望小売価格504円（消費税込み）。



実物大写真

◆従来品種との比較（中央がフェアリースター）  
（従来種の花径 約40mm、フェアリースター花径 約20mm）

### 注記

※①：花博における受賞品種名は「ビットシャーナ」になります（品種登録出願名称）。

※②：クーラー系

低温に比較的強いスタンダード品種のシリーズ名。（Pan American Seed社育成）

※③：パシフィカ系

花色が豊富な巨大輪種のシリーズ名。（Waller Flower Seed社育成）

## ■ニチニチソウについて

ニチニチソウ(日々草)はマダガスカルに原産するキョウチクトウ科の植物で、日本へは220年以上も昔に渡来したとされています。

暑さにとても強い植物で盛夏期にも咲き続けるため、夏花壇材料あるいは鉢花として需要が多い品目です。流通時期は一部異なりますが、パンジー、ペチュニアと並ぶ花壇苗の主力品目の一つとなっています。

学名: *Catharanthus roseus*  
和名: ニチニチソウ(流通別称「ピンカ」)  
科名: キョウチクトウ科  
分類: 一年草  
原産地: 熱帯アジア  
特性: 耐寒性=弱い、耐暑性=非常に強い



◆フェアリースターが生長した姿  
（株張り40~50cm）

フェアリースター®